



会場	開設	令和7年度の活動状況（全校児童数 437名）				
栗橋南 小学校	H25.11月 (2013年)	子ども (参加率)	実施委員	サポーター	開設期間 曜日・数	講座数
ゆうゆう名の由来 小学校名が名前の由来	229 (52.4%)	26	地域 32 保護者 127 中学生 16	6/21~12/1 平日 9回 土・日曜日 17回 計 26回	30	



## 1. 実施委員長・校長先生からのメッセージ

今年度もみなさまのご協力のおかげで、無事に活動を終えることが出来ました。

学校の先生方とはグループチャットで連絡ができるようにしていただき、やり取りがスムーズになり大変助かりました。お陰さまで1・2年生のお迎えも、今年の課題をクリアして、順調に進めることが出来ました。

保護者のみなさまからは「何かお手伝いできたら」と多方面から声をもらいました。特に「ゆうゆうノートを活用して子どもたちがゆうゆうで楽しんでいる様子をもっとほかの保護者にも伝えたい!」と、保護者起点で活動中に声掛けをして『ノートに感想を書いてもらう』→『写真を撮りオンラインで掲示(集まった感想は132ページ!)』→『参加者に見てもらう』という流れが出来上がりました。ノートを見た指導者からは「子どもが講座で楽しんでくれていることが確認できて嬉しい」との声、活動への活力となった様子があり、保護者だけでなくみんなの笑顔が増える企画に感謝!大きな活性要素となりました。

地域サポーターのみなさまにはゆうゆう活動を友人知人に声を掛け広めていただき、新たなメンバーが多数子どもたちのサポートに駆けつけてくれました。普段接点のない人同士が子どもを通して繋がりました。

秋には、栗橋文化祭の実行委員長で我がゆうゆうの実施委員でもある木村善二さんから文化祭参加へのお声掛けがあり、イリスにて作品展示と舞台発表に初めて参加いたしました。実行委員の方からは「子どもの発表は花があっというねえ」と高評価を、また参加した保護者や子どもたちからは「すごく楽しかった!また来年もやりたい!」と終了後に興奮冷めやらぬ声を何度も聞きました。

おかげさまで今年度も大変充実した活動をする事ができました。ご協力をいただきましたすべてのみなさまに心よりお礼申し上げます。

実施委員長 中野 さとみ

みなみっ子ゆうゆうプラザの実施委員や講師、サポーターの皆様には子供たちをいつも温かくご支援いただき、感謝の思いでいっぱいです。今年度も多くの講座を開設していただきました。オリエンテーションでの講座の紹介を子供たちがわくわくしながら聞いている様子は、見ていてこちらもうれしくなりました。実際に活動が始まり、学校ではできない体験をゆうゆうの皆様と共にできることは非常に有意義な時間であり、ゆうゆうの関わりの中で地域に知っている方が増えるということも子供たちにとって心強いことだと思います。

今年度は、ゆうゆうと学校でグループチャットを活用するようになったため、執行部の皆様と、より円滑に連絡が取れるようになり、早めにご連絡をいただけることが大変助かっております。参加させていただいているゆうゆう会議では、皆様の熱心な話し合いにこちらも引き込まれてまいります。

来年度も子供たちの健やかな成長にお力添えいただけますよう、よろしく願いいたします。



栗橋南小学校 校長 柳田 薫

## 2. 講座紹介

今年度は初めて  
栗橋文化祭に参加しました！



月曜日

- ①室内遊び ②サイエンス・ラボ ③チャレンジ囲碁 ④合奏 ⑤陸上競技 ⑥野球教室 ⑦楽しく書道  
⑧ガラス絵（ランタン作り） ⑨消しゴムはんこ ⑩文房具クラブ ⑪光る！紫外線チェッカー  
⑫リサイクル工作☆ビー玉おとし ⑬ちょこっとチア

火曜日 ①持久走

土曜日

- ①ミニバス体験 ②ゼンタングルアートⅠ ③親子でジュエルアート ④あそポッチャ！ ⑤お箏を弾いてみよう！ ⑥びんフラワー ⑦親子でびんフラワー ⑧手話ダンスで歌おう♪ ⑨いっしょにあそぼ！プラレール ⑩親子でレジンチャーム ⑪ゼンタングルアートⅡ ⑫Let's play Baseball ⑬親子でそば打ち体験 ⑭親子で囲碁・将棋 ⑮親子で茶道 ⑯栗橋文化祭（舞台発表・作品展示）



## 3. 今年度の成果と課題



### 成果

- ・親子講座のさらなる充実
- ・みなみっ子ポロシャツ作成による保護者と実施委員のコミュニケーションの活性により、保護者の協力の申し出が増えた。
- ・オンライン活用による連絡手段の定着
- ・ゆうゆうノートを積極的に活用することによって、子供たちとの会話や交流の幅が広がった。
- ・みなみっ子ポロシャツ着用により、子供たちから声をかけられる機会が増えた。
- ・文化祭参加により、舞台発表や作品展示の良い機会を得、地域とのつながりがひろがった。



### 課題

- ・児童の参加への呼びかけ方法
- ・実施委員・講師・サポーターの協力体制の維持
- ・ゆうゆうプラザへの地域の人のさらなる理解
- ・講座の維持・新規開拓・活動のあり方
- ・子どもに興味を持たせる・活動における子どもとの接し方

